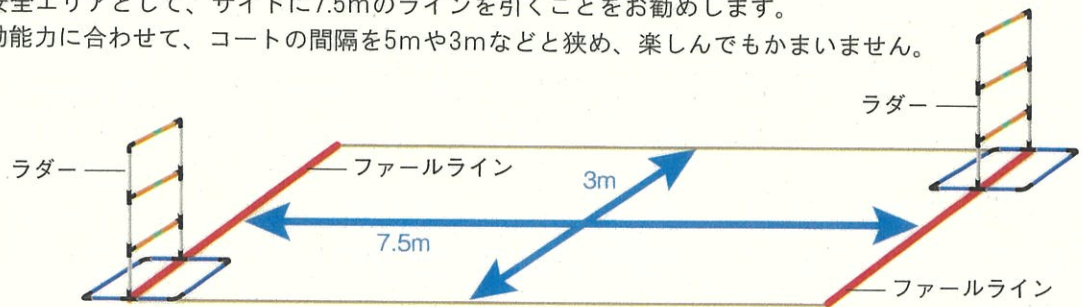


ラダーゲッターの正式競技ルール

基本コート

- ・7.5mの間隔を取り、3mのラインを平行に引きます。
- ・図のように、ラインの端に、本体(ラダー)の中央部をラインに合わせておきます。
- ※できれば安全エリアとして、サイドに7.5mのラインを引くことをお勧めします。
- ※対象や運動能力に合わせて、コートの間隔を5mや3mなどと狭め、楽しんでもかまいません。



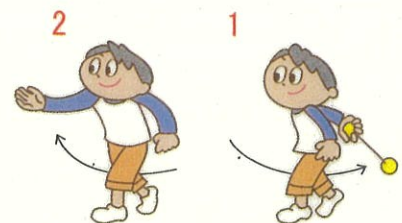
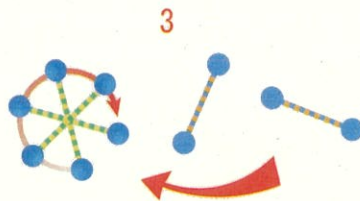
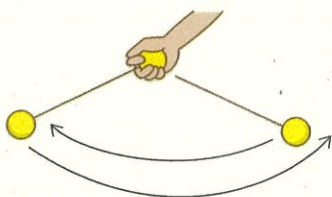
プレーの基本

- ・プレーヤーは同じ色のボール(黄色か青色)を三つ用意します。
- ・ファールラインの後ろからプレーヤーは、7.5m離れたところのゴールラダーに向かってボールを投げます。
- ・ボールがうまくゴールラダーにひっかかればポイントを得られます。ボールが落ちてしまったり、他のプレーヤーによってはじかれてしまった場合はポイントが入りません。

正しい投げ方

投げる時は片方のボールを持ち、下手投げで前後にゆっくりスイングします。

振り子の反動を上手く使いゴールに向かって投げます。そうするとボールは後方に回転しながら飛んでいきます。

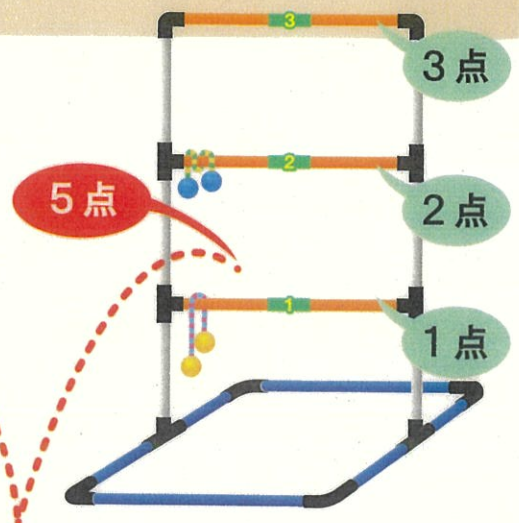


得点

- 一番上のバーにボールがハングする : 3点
- 真ん中のバーにボールがハングする : 2点
- 一番下のバーにボールがハングする : 1点
- 地面にバウンドしていずれかのバーにボールがハングする : 5点

※バウンドしての得点は、どのバーにひっかかっていても5点です。それは、床が硬い軟らかい場所によってバウンドが異なり、統一することができません。

※ローカルルールとしては、3点にバウンドしてひっかかったら5+3で8点などと決めて行なうのはかまいません。



勝敗

- ・21点先取した方が勝ちとなります。
- ・ただし、ぴったり21点で終わらないといけません。
※例えば、19点取っている状態で次のラウンドで3点取ってしまったら合計22点。その得点は無効となり、次のラウンドをまた19点もしくは20点（オーバーした前の得点）から始めなくてはなりません。その際、もし投げられるボールが残っている場合、残りのボールは投げて、後攻のプレーヤーにプレーが移ります。
- ・また、先攻チームが21点を先に取った場合、後攻チームは残ったボールで相手のボールをはじき飛ばすことに挑戦するか、同じく21点を取り同点とし、サドンデスプレーオフ（後で詳細）に持ち込んで勝敗を決めます。
※はじき飛ばすことに挑戦した場合、もし決勝点（21点ボール）をはじき飛ばせば、再度21点をどちらかが獲得するまでゲームは続きます。失敗すればゲーム終了となります。
- ・サドンデスプレーオフとは、先攻／後攻が同時に21点獲得した場合、各プレーヤーが1ラウンド（各々3投）行い、高い点を取ったプレーヤーまたはチームの勝利となります。1ラウンド行っても、まだ同点の場合は勝者が決まるまで続けます。

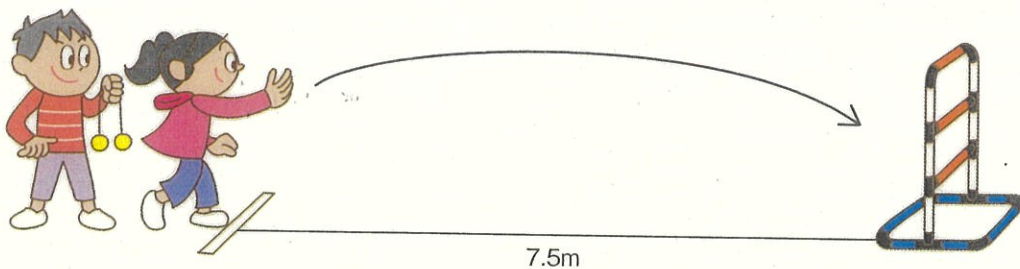
正式線での勝敗

- ・大会等の正式競技では、21点先取制で5セットマッチで行います。3セット先に取ったプレーヤーまたはチームの勝利となります。※ローカルルールとして、参加者の技量や能力に応じて勝敗の方法を変えて行ってもかまいません。

ゲームの進め方

シングルス戦…1人对1人

- ①コイントスやジャンケンで投げる順番（先攻／後攻）を決めます。トスに勝った方が先攻か後攻を選べます。
※後攻を選んだ方が優位のケースがあります。
- ②両者は一つの同じゴールに向かって投げます。まずは、先攻のプレーヤーが手持ちの三つのボールを一つずつ連続で投げます。

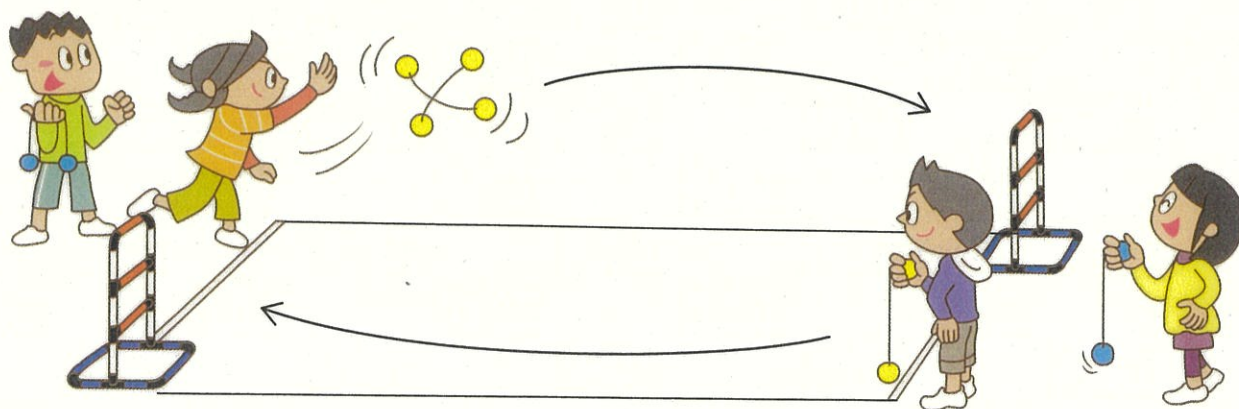


- ③先攻のプレーヤーが投げ終わったら、後攻のプレーヤーが同じく三つのボールを連続で投げます。ポイントを取りに行くのはもちろん、先攻のプレーヤーのボールをはじき落とすのも作戦の一つです。

ペア戦…2人对2人

- ①まずは、シングルスと同じように先攻／後攻を決めます。
- ②両チームそれぞれ対面するファールラインの外側に分かれれます（次絵参照）。
- ③先攻チームの二人がそれぞれ反対側のゴールに向かって3つのボール（計6つ）を投げます。
※投げ方は、対面に分かれた先攻チームのペア同士で、さらに先投げと後投げを決め、1つづ交互にそれぞれ3つ（計6つ）のボールを投げます。
- ④先攻チームが投げ終わったら、後攻チームの二人が投げます。全てが投げ終わり、どちらも21点に達していない場合は、それぞれコートを移動し勝負がつくまでラウンドを続けます。※ラウンドごと、コートチェンジをします。

- ⑤その際、前のラウンドの時点での合計点が高かったペアが、次のラウンドで先攻となり投げます。
 ※もしも、前のラウンドで同点だった場合は、その前のラウンドで得点が高かったペアが先攻です。
 ※また、セット間ごとの先攻は前セットでの勝者となります。



こんなケースの場合どうするの？

Q. 21点をオーバーさせてしまったボールはどうするの？

- A. オーバーさせてしまったボールは、対戦プレイヤーがプレーする前に取り外します。ただし、あくまでもオーバーさせてしまったボールのみです。

例えば、17点からスタートし、1投目で3点を取り20点、2投目が2点で22点となりオーバーしてしまった場合、2投目のボールのみを外します。

また、この場合、すでに2回投げてますから、対戦プレイヤーのプレー後に投げられるのは1投だけです。取り外したボールは投げられません。

Q. どちらのプレイヤーも何回続けていても21点取れません。どこで勝敗つけたらいいの？

- A. 初心者の場合にはよくあります。20対20となり、あと1点がなかなか取れないケースがよくあります。5回づつ投げて、どちらも21点を取れない場合は、サドンデスプレーオフとして勝敗を決めます。

Q. 壁や天井に当たってラダーに引っ掛かったが…？

- A. 狭い室内でプレーする場合たまにありますが、壁や天井に当たってラダーに引っ掛かったボールは無効です。あくまでも直接かラダーの前にバウンドして引っ掛かったボールのみが得点となります。

Q. サイドの縦のバーに引っ掛かってしまった場合の判定は？

- A. 得点になります。3点と2点の間のバーに掛かった場合は2点、2点と1点の間のバーに掛かった場合は1点となります。ただし、1点と地面の間のバーは0点、得点になりません。

Q. 何回もバウンドしてラダーに引っ掛かって5点になるの？

- A. ラダーの前にバウンドして引っ掛かったボールは、バウンドの回数に関係なく全て5点になります。

Q. バウンドして3点のラダーに引っ掛かって5点なの？

- A. どのラダーに引っ掛かって、バウンドしてのものは全て5点です。3点のラダーに掛かったからといって、3点+5点=8点にはなりません。地面や床の条件によってボールのはずみ方が異なるため、正式な競技で行う場合はバウンドで掛かったものは全て5点のルールで進めます。

Q. 投げ方はアンダーハンド以外はダメなの？

A. いろんな投げ方が考えられますが、安全性を考慮し、ラダーゲッターの場合は全てアンダーハンドで投げることにします。ただし、一方のボールを持ってスウィングして投げる方法だけでなく、2つのボールをつないでいるヒモの部分を持って投げる。または、2コのボールを持って投げるなど、アンダーハンドであればかまいません。

Q. ラダーにかかっている自分のボールを弾き落としてしまった場合の得点は…？

A. ラダーに引っ掛かっているボールに当てて落としてしまった場合は、味方（自分）のボールでも、その点数は無効となります。

Q. ボールではなく、ラダーに掛かっているボールに、投げたボールが絡んでしまった？

A. ラダーに引っ掛かった場合のみ、得点になります。ラダーに掛かっているボールに、投げたボールが絡んでしまった場合は得点にはなりません。

Q. ペア（チーム）戦の場合、先投げ、後投げ含めて計6回投げることになってるが、先投げ者が投げて、21点をオーバーしてしまった場合、投げる順番はどうなる？

A. ペア（チーム）戦の場合は、先攻側が計6回投げることになっているので、同チームの後投げ者が投げます。しかし、後投げ者も21点オーバーしてしまった時点で、後攻の先投げ者に投げる順は変わります。後攻チームも先投げ、後投げと計6回投げることになりましたが、後攻が途中で21点取った場合、先攻チームは残りのボールで21点を取りサドンデスプレーオフに持ち込むか、敵のボールを落としてプレーを続行するかに挑みます。
先攻チームの残りのボールを全て投げて、21点に達しない場合は後攻のチームの勝ちとなります。